

予算審査特別委員会

Check! 予算審査特別委員長の視点!



▲植松健一 委員長

予算審査特別委員会 植松健一 委員長のコメント

3月7日及び8日の2日間にわたり全委員出席のもと、各委員が熱心な審査を行ないました。

全体的にはコロナ後の「持続可能なまちづくり」のための予算となっていると感じました。少子化対策・子ども施策、脱炭素社会の実現に向けた取組、防災・減災対策、自治体DXの推進など、富士宮市の将来を見据えた予算編成になっていることが読み取れました。

コロナ禍で受けていた様々な制約が取り払われ、未来に向かって発展していく富士宮市をイメージできるものであると思います。また、富士宮市を「世界遺産富士山に相応しいまち」とするための様々な施策も盛り込まれ、その内容は各委員とも十分納得できるものであり、全会一致という素晴らしい形で可決することが出来ました。

議員が注目した予算は、これだ!



市街化調整区域の事業

市街化調整区域の集落拠点内の空き店舗を改修する場合、その経費が補助されません。

鈴木 弘 議員



環境対策費について

子どもたちの未来の環境作りのため、またゼロカーボンシティ早期実現への事業に期待。

小松 快造 議員



地域間交流事業

駅前若者チャレンジハウスが開設します。若者たちの自由な発想に期待しています。

赤池 弘源 議員



市民文化会館施設整備

長寿命化、耐震化、環境改善を合わせた大規模リニューアル工事で生まれ変わります!

植松 健一 議員



汚水処理共同化事業

浄化センターの下水と衛生プラントのし尿を一括処理、下水道法の改正に期待する事業。

近藤 千鶴 議員



文化財保存・管理事業

歴史ある施設の保存をはじめとする文化財の保護に取り組む体制が必要です。

芦澤 秀典 議員